



2015～2016年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2015～2016年度
国際ロータリー・テーマ

世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

国際ロータリー会長

K. R. ラビンドラン

国際ロータリー2720地区 **中津平成ロータリークラブ**

会長 辛嶋 崇 幹事 宇都宮 監浩 会報担当 二反田 新一 クラブ広報委員長 二反田 新一

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org>

第1233回例会 平成27年10月22日(木)

●本日の例会プログラム 夜間例会「今後の夜間例会について」
辛嶋会長

◎次回例会プログラム 休会



前回(1232回例会)の記録

平成27年10月15日(木)

■ゲスト

キム ウォン ジェ氏

■ビジター

■出席報告

会員数	24名
免除者数	1名
対象者数	23名
本日出席者	14名
欠席者数	9名
出席率	60.87%

■1231回出席報告の修正

1231回欠席者	7名
メイクアップ	2名
欠席者	5名
修正出席率	69.57% → 78.26%

●メイクアップ

中島会員、永松会員、長野会員、黒瀬会員

●欠席者

梶屋会員、粕倉会員、矢頭会員、田長丸会員、吉野会員

◎ロータリーソング それでこそロータリー

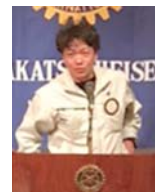
◎会長の時間 辛嶋会長

10月も半ばになり、朝晩はびっくりするほど寒さを感じます。もちろん日中は過ごしやすい日々が続いております。今月の終わりの土曜日から11月1日の日曜日にかけて、平成4姉妹クラブの集まりが熊本平成クラブさんのお世話で開催されることになっています。当クラブから12名の会員と4名の奥方様が参加します。遠く仙台平成さんや加古川平成さんのメンバーとお会いできるのが楽しみです。また、11月7日(土)のIMは当クラブの岡野ガバナー補佐主催のもので、大分第一グループからたくさんの方が集まって来られると思います。準備の方は永松ガバナー補佐幹事をお願いしておりますが、会員一丸となって準備をお願いします。そして12月17日(木)は中津3ロータリークラブの合同夜間忘年会です。中津平成が当番なので黒瀬親睦委員



長さんをお願いします。そして、早くも来年の新春家族会の準備もかからなくてはなりません。3月の26日(土)27日(日)は熊本で地区大会です。多数のご出席をよろしく申し上げます。

◎幹事報告 宇都宮幹事



◎ニコニコボックス

【辛嶋会長】今日は中央ロータリークラブの河野先生が来ているのでニコニコします。

【河野会員】今日はカウンセラーで来ていますが、食べる以上はニコニコします。

【中島会員】先日、卓話をお願いしたら、快く引き受けてくれた方から連絡があり、今度はこちらがビジネスマッチングで呼ばれました。タダより怖いものは無いと思い



ました。

〔宇都宮会員〕先日セコムの人と話をしていたら上毛町で空き巣があったと言ってました。どこかで聞いたことのある話だと思いました。

〔長野修士会員〕今月末の姉妹交流に参加していただける方は、中津駅の南口に13時に集合してください。ゴルフの方は乗り合わせでよろしく願いいたします。

〔黒瀬会員〕先日、玖珠ロータリーの例会に岡野先生と長野会員と一緒にに行ってきました。

〔長野定生会員〕最近釣りはじめました。これから釣れるように頑張ります。

◎米山奨学生卓話

「日本での異文化体験そして将来の目標」
立命館アジア太平洋大学国際経営学専攻
キム ウォン ジェ氏



こんにちは、中津平成ロータリークラブ会員の皆様。私は、今年の4月から第2720地区の中津中央ロータリークラブに所属させていただいた立命館アジア太平洋大学（以下、APU）国際経営学部4年のキムウォンジェと申します。この場をお借りして皆様の前で自分のことをもう一度ご紹介させていただき機会をくださり、改めて感謝を申し上げます。私は1990年8月18日生まれ、中学校までは韓国で進学し、現在日本の別府に位置しているAPUで在学中です。韓国で住んでる場所は、韓国の首都ソウルから約1時間くらい離れている水原（スウォン）という都市に住んでいます。

私の父（キム、ピョンイル）は、江南大学校税法関連分野の教授で働いていて、母（ジ、ジョンウン）は、彼女の専攻である美術を生かして美術心理治療士として働いています。最後に、私より2年年上の姉（キム、ギョンジ）は現在ソウル大学院で電子工学科大学院生として研究を進行中であります。

このように恵まれた家庭環境の中で、両親の積極的な支援のおかげで10年以上を韓国ではない他の国で教育を受けることができました。今から皆様に申し上げたいことは、私が生まれてすぐ日本で暮らした記憶と、米国への留学時期、そして日本に帰ってきて今まで私が経験したことです。

APUでの活動

- 1) 韓国の昔ばなしを演劇にすることで、伝統文化を他国出身の学生に紹介させてあげるコリアンウィーク
- 2) 6ヵ月間1年生の日本人学生に韓国語を教えてあげ、韓国を実際に訪問し、アンケート調査を実施できるように手伝う「FIRST: Freshman Intercultural Relations Study Trip」プログラムTAの役割
- 3) そして、日本に住んでいる外国人の息子たちが今後、現地生活に慣れるように手伝ってあげる南立小学校の役割まで務めました。

セミナー・今後の夢

学内/学外の活動以外にも、今後私の父のように教授とした専門家になろうとする夢があるため、専攻分野に関連する知識をさらに向上させようとフィリピン・マニラにある「De la Salle大学/大学院」出身のMichael A. Cortezからセミナーを取っています。そのおかげで、担当教授の指導から自分が望んでいる会計・金融分野の専門知識を積むことができる機会が多かったです。

その代表的な例として、多くの時間と力を入れた「CFA Research Challenge」という大会があります。この大会は東京で主催され、日本国内の総14つの大学及び大学院が、特定企業の未来株価を予測する大会でした。APUでは、ベトナム、スリランカ、ネパールそして韓国出身の私を含め、総4人の学生が参加をしました。想像以上に高いレベルの専門性が要求され多くの困難があり、その中でも企業内の詳細な情報を把握することに対して一番時間がかかりました。結局、その大会ではAPUは優勝できなかったのですが、この経験から「専門知識を実際事例に適用してみる応用力」が養われたと思います。その大会以外にも、担当教授の指導で日本の税法改革案に関連して研究を進めることができました。「改革案が日本の上場企業にどのような影響を与えるのか」を約8ヵ月をかけ、対象企業の約12年間の財務諸表を再計算する方式で研究をしてきました。教授という夢を持っている私にとって、事前に研究論文の準備や発表を経験することができてとても意味のある時間でしたが、一方、同時に不安という感情も感じられました。研究を進む間に計算式を取り違えてしまい、何回も最初から計算することが普段であり、財務諸表上に外された特定会計項目の価値をどうしても探せなく、相当な時間がかかりました。このように、一つの結果に向けてあきらめずに最後まで走っていく忍耐が必要となる学者の道に対して「私がかまできるか」にとっても心配し、まだ不足な私の姿を見ながらより勉強しなければならないと感じました。

もう4年生になった同期生の友達が私にいつも言っています。「また勉強を継続して進むのか？」と。就職活動をしている友達の中で一人で寂しく大学院準備のために戦っています。自信よりは恐怖と心配が先に感じられますが、私という人のために献身してきた両親のためにも、こんなに私の夢を支持してくださるロータリークラブの会員様のためにも新たな挑戦に取り組むつもりです。

今後、必ず学者になってアジア、先進国である日本やアメリカからの「APAIE: 国際教育発展協会」みたいな学会の参加や、その国の研究成果・新たな金融制度及びに会計制度の成功事例を基づいて、韓国にもその制度を適用したいと思っています。ただ、韓国だけに適用していくというわけではなく、そのような活動を通じて、韓国と日本、お互いに不足している点、または成長可能性がある金融制度及びに会計制度に関して知識交流の中心となる架け橋になることを約束いたします。